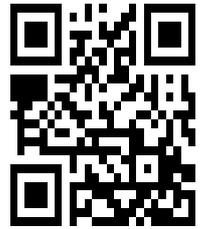


6月 8~11 週(月4回授業)

29	月	5月 4週
30	火	中間考査(東陽)
31	水	中間考査(東陽)
1	木	
2	金	
3	土	休校
4	日	休校
5	月	6月 8週 算数検定締め切り日
6	火	
7	水	
8	木	
9	金	
10	土	第2回岡山県公開模試(中3)
11	日	休校
12	月	6月 9週
13	火	
14	水	
15	木	
16	金	
17	土	単元補習(妹尾・茶屋町校)
18	日	休校
19	月	6月 10週 単元補習(庭瀬校)
20	火	
21	水	
22	木	
23	金	
24	土	小6適性検査模試(茶屋町校) 定期考査対策補習(妹尾・庭瀬・茶屋町校)
25	日	休校
26	月	6月 11週 定期考査補習(庭瀬校)
27	火	期末考査(興除・吉備・妹尾)
28	水	期末考査(興除・吉備・妹尾・福田・多津美・東陽・灘崎)
29	木	期末考査(福田・多津美・東陽・灘崎・中山)
30	金	期末考査(福田・多津美・東陽・早島・中山)
1	土	高校生期末考査勉強会(茶屋町校)
2	日	休校
3	月	7月 12週 期末考査(早島)
4	火	期末考査(早島)
5	水	

ヒーローズ  
Hero's おかやま



2023年5-6月号



ヒーローズの塾生のみなさん、保護様方、こんにちは。

5月8日から新型コロナも季節性インフルエンザと同等の扱いになりました。学校生活もすっかりコロナ前に戻り、マスクを外した生徒さんの指導は表情が分かりやすくいい感じです。学校行事も修学旅行を筆頭に運動会や宿泊研修など4年前に“あった、あった”と思い出しています。そして高校や倉敷学区の中学校はそれらの行事のスキを狙ったかのように中間考査があります。

今回はテスト勉強について。

テストの結果をだすために一番大事な日は？もちろん前日ですね。テスト勉強は前日に何を確認するのかで予定を立てましょう。**そもそもテスト前日は最終のチェックを目的とした軽い勉強です。**極力、新しいことはせずに、すでに何度も取り組んだ事項の確認を優先します。前日の勉強が決まればテスト3日前、1週間前、10日前、2週間前にどんな勉強をやるべきかが決まってきます。

軽い勉強=テスト範囲をくまなくテンポよくチェックしていくような勉強です。

**中間考査対策補習は5月27日(土)です。**

岡山茶屋町校の東陽中(5月30、31日の中間考査)の生徒さんには同封していますので、参加希望の生徒さんは事前に公式ライン・メールにて申し込みをお願いします。強制的参加ではありません。(自由参加、無料)。なお、期末考査対策補習も6月24日(土)で予定しています。別途、ご案内します。(公式ライン・塾内掲示)

**6月17、19日に単元補習を実施します。**

中学生の1学期の期末考査をゴールにテスト2週間前に単元補習を実施します。公式ライン・塾内掲示にて通知しますので参加希望の方はいっしょに頑張りましょう。(自由参加、無料)

## 小学生算数検定を7月8日(土)に行います。締め切りは6月5日(月)。

対象の小学生の生徒さんには第409回算数検定のリーフレットを同封していますのでご希望の生徒さんのみ提出をお願いします。受験級、氏名、生年月日のみの記入です。小学生の検定料は塾負担ですので無料です。またあわせて中学生の数学検定5級以上の受験も可能です。(有料)今回中学生には同封していませんがご希望の生徒さんは個別に申し出ください。5級中1生(3,000円)、4級中2生、(3,000円)3級中3生(3,500円)です。(学齢は目安です)

## 中学受験適性査模試は6月24日(土)に行います。(小6生のみ)

小学6年生の私立・公立中高一貫校を受験される生徒さんが対象です。対象の生徒さんは同封しています。締め切り日までにご提出ください。岡山茶屋町校にて行います。(7月度でご請求)適性(算数・理科)9時15分~10時、適性(国語・社会)10時15分~11時の予定です。6月5日(月)締め切り。

## 高校生対象の期末考査勉強会を茶屋町校で7月1日(土)に行います。

当塾の生徒さんが通う岡山一宮、岡山城東、岡山芳泉、西大寺、倉敷南、倉敷天城、倉敷古城池、倉敷中央高校などの第2回目の定期考査が7月3日からの予定です。この教科のこの単元のココが学校の授業が速すぎて理解できない・・・という生徒さんは参加して質問してください。午前より夕方まで塾を開放の予定で参加時間はフリーです。

適切な答えを得るためには適切な質問をしなければならない。あいまいな質問はあいまいな答えしか得られない。

「数学がやばい」という声がありました。学校授業の進度が速すぎて理解できない、らしい。なのに、先生は「ゆっくり過ぎたら言ってください。」という。その高校は毎年数名の東京大合格者を出しています。高校の先生は必死です。今年も。だから、クラスの8割以上を占める学校授業が理解できない生徒さんにあわせて授業をするわけにはいかないのです。2割の東京大学受験候補の生徒さんに向けて授業をする必要があります。これが進学校と云われる所以です。でも、今では私立大学だけではなく国公立大学でもいろいろな受験の仕方があります。従来だと6教科8科目の共通テストの一般選抜でしたが、昨今、共通テストを受けない総合型選抜や学校推薦型の入試もあり早めに方向性を決めていきましょう。

## 収入は学歴や才能ではなく、売る力で決まる。総合型選抜は自分売りです。

モノを売ることは難しい、営業は難しいと言われるかもしれませんがそれは教わったことがないからです。大学入学の総合選抜型は書類、志望理由、小論文、面接で決まります。準備は自分を売る力の勉強です。途上国に観光に行くと空港には文字を読めない子供でも見事にお土産を売っています。まさに自己アピール。自分売りです。例えば岡山大学。岡山大学は2022年度入試から後期日程を廃止し定員175人を総額型選抜と学校推進型に移行しています。教育学部を筆頭に270人入学中102人が総合型選抜、学校推薦型も19人です。学力のみではなく総合型選抜で選ばれる学生に来てほしいと考えているからだと思います。学校推薦型入学は文学部20人、工学部135人、経済学部120人です。最難関と云われる医学部ですら保健学科に限り40人が総合型選抜です。一般選抜のような学力だけでは測れない人間力が今や国公立大学でも問われています。大学入試の多様化に向けて現状では芳泉高校が一步抜けています。総合型選抜と学校推薦型で国公立大学94

人は(一般選抜を含めて261人)全国一位ではないでしょうか。芳泉はこの総合型選抜に力を入れています。おそらく94人合格から逆算すると受験者は約200人の出願(8クラス320人)位です。大変と云われる探求授業に加えて200人の小論文や面接指導をやりきっているすごい高校です。一宮もそう。総合型選抜24人学校推薦型54人で78人(一般選抜を含むと206人)です。倉敷では今年の国公立大学入学者は青陵が251人、倉敷南201人、天城が123人、古城池が102人、そして玉島です。100人。その玉島高校もまさに総合型選抜に特化しています。1学年274人(7クラス)の内、共通テストを受けない国公立大で118名出願で50名合格。総合型選抜や学校選抜型で大学進学を検討している生徒さんは高校1年生から情報収集する必要があります。

